



# ましきな

校是：向学 誠実 開拓  
 与論町立那間小学校  
 TEL 0997-97-2278  
 FAX 0997-97-4950



## 「雪に耐えて梅花麗し」

那間小学校 校長 有留 雄一郎

先月は与論も厳しい寒波の影響で、雪が舞うのではないかと思うほど寒い日も続いた。そして2月になり少し暖かさを感じている。校区内を散歩していると、キビ畑が次々に刈り取られていくのと同じ時にあちらこちらの木々にピンクの花が少しずつ開き始めている景色が目に入る。その花の中に梅の花があり、初任地の薩摩川内市(東郷町)にある藤川天神(菅原道真公が祀られている)の臥龍梅(国指定天然記念物)を思い出す。初任の小学校から30分ほど車で行ける場所にあり、満開の梅は見応えがあり、梅の香が漂う。ここには偉大なる鹿児島島の先人、西郷隆盛の愛犬ツンの像がある。そして「雪に耐えて梅花麗し」はその西郷隆盛の漢詩「耐雪梅花麗」。ご存じの方も多いかと思う。



藤川天神の臥龍梅

「厳しい雪の寒さに耐えてこそ、梅の花はより美しく咲くこと」を、「多くの困難を乗り越えてこそ立派な業績をあげることができる」と解釈している。

2月に向けた1月末の全校朝会では次のような話を行った。

いよいよ2月(如月)。如月の由来には、厳しい寒さに備え重ね着をする季節を意味する「衣更着(きさらぎ)」、段々と春に向けて陽気があることを意味する「気更来(きさらぎ)」、春に向けて草木が更に生えてくるという意味の「生更木(きさらぎ)」から転じたという3つの説があるそうです。

2月4日は立春。まだまだ寒いですが、暦の上では春です。今の時代、年の始まりは1月1日ですが、昔はこの立春が1年の始まりだったそうです。

そこで春に向けての話をします。3学期は4月からの進学、進級に備えて、しっかりと力をつける時期です。学力をつけることはもとより、**人とつながる力**をつけることも大切です。『人と人がつながる』とはどういうことなのかということを考えてみてください。

人と人が向き合っていく時にトラブルは必ずあります。けれども、それを解決し、そのことをとおして、むしろより豊かで深いつながりをつくっていきける人に育てほしい、お互いの良いところも不十分どころも丸ごと受け止められるような懐(ふところ)の深さをもった人間に成長して行ってほしいと願っています。その際にキーワードとなるのが『**相手を認める**』ということ。

今ここにいる那間小の仲間や先生たち。今の学年の教室で、今この瞬間の友達や先生と過ごすのもあと少し。だから『**相手を認めて初めて自分も認められる**』ということが大切。そして『人と豊かにつながる』こと』になる。この短い2月を大切に過ごしてほしいと思います。

与論の基幹産業であるキビの刈り取り。早いところは12月に始まり、そして最終段階の刈り取りに入っている。大型のハーベスターで刈り取るところが大半の中、早朝から夕方遅くまで手がかりする方も時折お見受けする。そして刈り取られた後のキビ畑は次々と機械で掘り起こされていく。何気ない風景ではあるが、もう準備が始まっている。

2月は28日まで。あっという間である。6年生においては、卒業まで30日を切った。**この春にきれいな花を咲かせるための最後の踏ん張りどき**。このラストをどうまとめていくか。忙しくはなるだろうが、那間小の伝統を後輩たちへ引き継ぐと同時にやり残したことがないようにしてほしい。次への準備とともに。もちろん他の学年の子どもたちも同様、悔いのないように・・・。

我々那間小職員も全力でサポートしていきたい。

### 2月

- 17日(金) ユンヌフトゥバ学習  
第3回学校保健委員会
- 19日(日) 与論島グリーン作戦
- 22日(水) 学校評議委員会
- 23日(木) 天皇誕生日
- 24日(金) 授業参観・学級PTA・専門部会

### 3月

- 3日(金) 6年生を送る会・お別れ遠足  
お弁当の日
- 8日(水) くじら号

### 3月

- 10日(金) 入学時連絡会
- 11日(土) 土曜授業
- 17日(金) ユンヌフトゥバの日
- 21日(火) 春分の日
- 22日(水) 卒業式準備
- 23日(木) 卒業式
- 24日(金) 修了式・大掃除・辞任式

